

あいの風とやま鉄道 富山駅高架下の開発計画

西エリア (約874㎡)

開発主体：富山ターミナルビル(株)

- ◇ ナショナルチェーンを中心に地元客も観光客も気軽に立ち寄りやすい店舗構成を計画
- ◇ 想定店舗構成
ファーストフード、カフェ、麺類など

※イメージパース



中央エリア (約194㎡)

開発主体：あいの風とやま鉄道(株)

- ◇ 在来線改札口に隣接し自由通路が交差する立地条件や東エリアへの利用者の誘引を踏まえ利用者にとって利便性が高い店舗構成を計画
- ◇ 想定店舗構成
コンビニエンスストアなど

※イメージパース

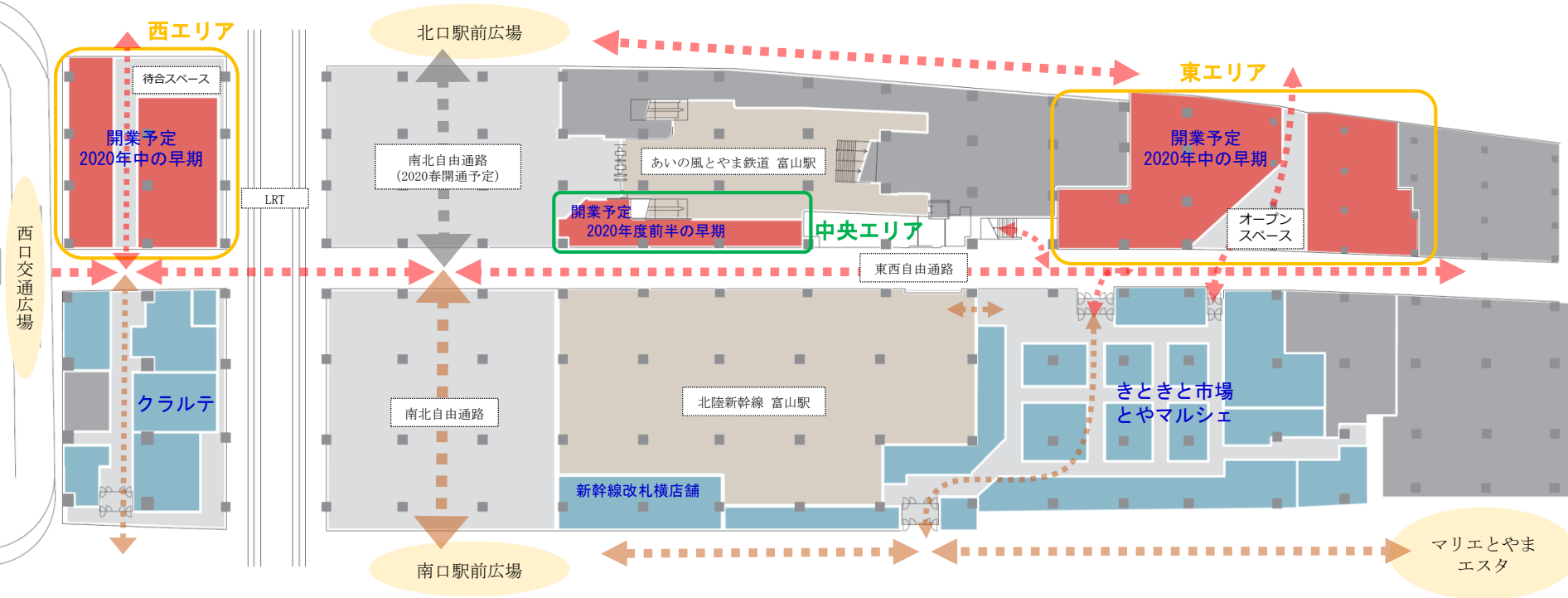


東エリア (約1,346㎡)

開発主体：富山ターミナルビル(株)

- ◇ 「富山らしい食」と「普段使いできる食」の双方を備えた「富山の魅力ある食材を提供する」飲食ゾーンを中心に計画
- ◇ 富山県内資本店舗を店舗数で7割以上、面積で6割以上を計画
- ◇ 想定店舗構成
居酒屋、和食、洋食、麺類、ベーカリーなど

※イメージパース



店舗レイアウト計画

店舗壁面に県花のチューリップや
県木立山杉、立山連峰などの
富山らしさをアピールする意匠
を展開します。



富山の商材を活かした
商品開発を行います。

「べっ嬢さくらます」の
加工食品など地域商品開発
や販売を行います。



県下4エリアのお土産販売
とエリア情報発信を行います。



コンビニゾーン

デジタルサイネージ等で
地域商品、東側エリアの情報を
打ちだし、東側へと歩きたくなる
動機づけを行います。



おみやげゾーン

とやマルシェのテナントの
新規商品のチャレンジ販売と
情報発信を行います。

デジタルサイネージ等で
地域商品、東側エリアの情報を
打ちだし、東側へと歩きたくなる
動機づけを行います。

